

請 願 ・ 陳 情 文 書 表

令和5年6月定例会

受 理 番 号	1	受 理 年 月 日	令 和 5 年 5 月 2 4 日
請 願 ・ 陳 情 者	群馬県高崎市倉賀野町194 おひさま倉賀野保育園内 群馬県保育問題連絡会 会長 平石 美奈		
紹 介 議 員	角田 喜和		
付 託 委 員 会	教育福祉常任委員会		
<p>子どものために保育士配置基準の引き上げによる保育士増員を求める意見書の提出を求める請願書</p> <p>【請願の趣旨】</p> <p>1 国に対して「子どものために保育士配置基準の引き上げによる保育士増員を求める意見書」を提出してください。</p> <p>【理由】</p> <p>コロナ禍で保育所の重要性は広く社会に認識されましたが、感染対策を徹底しながら、子どもの発達を保障し、子育て家庭を支えるには、現在の配置基準は不十分であり、子どもの命と安全を守るためにも保育士増員が急務となっています。</p> <p>小学校では、コロナ禍を受けて全学年での少人数学級化が順次実施されており、2021年度「学校基本調査」によれば、公立小学校の学級当たりの平均児童数は既に22.7人になっています。一方で、小学生よりも幼い乳幼児が長時間生活する保育所等の4・5歳児の配置基準（子ども30人に保育士1人）が、基準制定以来70年以上一度も見直されてないことはゆゆしき事態と言わざるを得ません。</p> <p>国は2023年4月に「こども家庭庁」を創設して、これまで以上に子ども関連施策の充実・推進を目指し、予算も倍増するとしています。いまこそ保育関係予算を大幅に増やし、保育士配置基準の引き上げによる保育士増員、処遇の改善を国の責任で進めるべきです。</p> <p>つきましては貴議会より、国に対して「子どものために保育士配置基準の引き上げによる保育士増員を求める意見書」を提出していただけるよう請願いたします。</p>			